

デュオよこすか便り

デュオよこすかでご活動している登録団体をご紹介します

第5回 横須賀要約筆記勉強会「海」

聴覚に障害がある方のコミュニケーション方法という、まず「手話」を思い浮かべます。しかし、手話を主なコミュニケーション手段として使用しているのは、生まれつき耳が不自由で手話を学んだ人などで、聴覚に障害がある方全体の1割位だと言われています。病気や事故で後天的に聴覚に障害を持つ人（中途失聴者）は、実は手話の分からない人の方が多いのです。そんな聞こえに不自由のある方々へ、文字で情報を伝えるのが「要約筆記」（筆記通訳）です。話されている内容をその場で要約して文章にし、それを耳の不自由な人に読んでもらうことでコミュニケーションを成立させます。要約筆記は、要約した文章をパソコン・OHP/OHCなどの機材を使ってスクリーンに映し出す方法のほか、利用者の横に座って書きだす方法などがあります。

横須賀要約筆記勉強会「海」は、横須賀で唯一の要約筆記のグループで、定期的に要約筆記の勉強会を行っているほか、ボランティアで要約筆記の体験を伴う

講座などを開催しています。

中途失聴者・難聴者は、要約筆記で情報を保障することで格段に世界が広がります。会議や講演会などの内容がその場で分かり、話に加わったり、笑ったりすることが素晴らしいのです。

しかし、要約筆記はまだ認知度が低く、中途失聴者・難聴者にもあまり知られていないといえます。横須賀要約筆記勉強会「海」では、要約筆記を多くの人に知ってもらうために、一緒に活動する仲間を募集しています。日本語が書ける人なら誰でも要約筆記ができるそうです。

興味のある方は是非、下記までご連絡ください。

横須賀要約筆記勉強会「海」
連絡先 Tel.849-7182（会長 大西愛子さん）



相談室コーナー

こんにちは！「デュオよこすか女性のための相談室」です。このコーナーでは、さまざまなご相談が寄せられる中で相談室が感じていることを、少しでもお役に立てたいな、という気持ちでご紹介していきます。

第6回 空の巣症候群

当相談室では、女性が日頃から抱える人間関係や生活上の悩みについて、女性相談員がご相談に応じています。

相談の内容は、離婚問題をはじめとする夫婦関係に関するものが多く寄せられています。

最近、相談室として気になっているのは「家事や子育てを熱心に頑張ってきたけれど、子どもたちが成長したら自分の居場所がなくなったような気持ちになった」というケースです。

「空の巣症候群」という言葉をご存じでしょうか。子どもは自立し、夫は仕事で忙しく構ってくれず、自分1人が家庭という巣に取り残された気分になる…ひな鳥が巣立ち、空になった鳥の巣に例えています。精神的なむなしさにさいなまれ、頭痛、孤独感など抑うつ状態に悩まされる症状が出ることもあり、「燃え尽き症候群」とも似ています。

戦後の日本では、「男は仕事、女は家庭」という考え方のもと、夫が働く世帯が一般的で、女性の多くは家事と育児に専念していました。当時は

同じ状況の人が多かったので、互いに励まし合えたかもしれません。しかし現在は、共働き家庭が増え、人間関係も希薄になってきたことで、昔よりも孤立しやすくなっている可能性があります。

子育てはとても重要なことですが、楽しいことでもあります。子どもたちはいずれ巣立っていきます。仕事や趣味、地域活動など、子ども以外に生きがいを持つことも、また重要です。さらに、平成23年度の市民意識調査でも「母親と父親は分担・協力しあってともに育児に取り組むべき」という考えをほとんどの方が支持していました。夫婦によって分担の割合は違っても、子育ては妻だけが担うものではなく、夫も可能な限り担うべきであると言えます。一人で抱え込まず、夫婦でよく話し合っ楽しんでみても良いかもしれません。

そして、今現在、孤独感に悩んでいる方は、「デュオよこすか女性のための相談室」にお電話してください。苦しい胸の内をお聞かせください。お待ちしております。

デュオよこすか女性のための相談室 ☎ 046 (828) 8177

日常における一般的なご相談 月・水・金 9時～16時 面談は予約制

人権・男女共同参画課から

ストーカーとは？

重大な事件に発展する可能性もあるストーカー。ほとんどのケースでは、警察から禁止命令を出すことで鎮まることが多いようです。

感情のもつれによるトラブルは、早期対応が決め手になります。しかし、何がストーカーに当たるのか分からなくて迷ったり、相談先が分からなかったりして、対応が遅くなることもあります。そこで今回は、昨年改正されたストーカー規制法を基にご説明します。

特定の人に対する恋愛や好意の感情、またはそれが満たされなかったことへの怨恨の感情から、特定の人やその家族などに対して行われる次のような行為を「つきまとい等」といい、これを繰り返すことを「ストーカー行為」といいます。

●つきまとい等の具体例

- ①つきまとい。待ち伏せる。押し掛ける。
- ②監視していると思わせるような事を告げる。
- ③面会や交際など、義務ではないことを要求する。
- ④乱暴な言動をする。
- ⑤無言電話、拒否しているのに電話・ファクス・電子メールなどを繰り返す。
- ⑥汚物や動物の死体などを送付する。
- ⑦名誉を害する事項を告げる。
- ⑧性的羞恥心を侵害する。

デュオスタッフおすすむBook



漫画家ママのうちの子はADHD

かなしろにゃんこ。：著（講談社）2012年
発達障害のひとつ、ADHD（注意欠陥多動性障害）を抱える小学生の息子との日々を描いたコミックエッセイ。児童精神科医からの解説もあります。

— お知らせ —

「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律」の一部を改正する法律が2014年1月3日に施行されました。今回の改正によって、生活の本拠を共にする交際相手（いわゆる同棲関係）からの暴力及びその被害者についても、配偶者からの暴力及びその被害者に準じて、法の適用対象とされることとなります。詳しくは、内閣府男女共同参画局のホームページをご覧ください。

◎この広報紙は 10,000部作成し、1部あたりの印刷経費は 18.8円です。

◎この広報紙は、グリーン購入法に基づく平成25年度横須賀市グリーン購入調達方針の判断基準を満たす紙を使用し、かつ、印刷用の紙へのリサイクルに適した材料（Aランク）のみを用いて作成しています。

エコライフ ← 意識をすれば、必ず変わる → 男女共同参画

野心のすすめ

林真理子：著（講談社現代新書／講談社）2013年
著者は「人生にはここが頑張り時だという時があります。ここぞという機会」を自分で作り出すのが野心です」といいます。後悔のない人生を送るための示唆に富んだ内容です。

デュオよこすか

デュオよこすかは、男女共同参画を推進するための施設です。交流の場、出会いの場、情報収集の場としてご利用ください。

〒238-0041 横須賀市本町2-1（総合福祉会館5階）

☎ 046-822-0804

開館時間 月曜日～土曜日＝9時～20時
日曜日＝10時～17時
休館日 12月29日～1月3日（臨時休館あり）

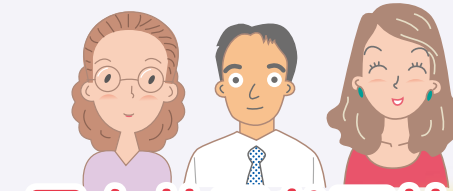
リサイクル適性 (A)

頼もしいパイオニアたち	1P
女性市議会議員にインタビュー	2P～3P
取材を終えて	4P
データでみる日本の「男女共同参画」の現実	
デュオよこすか便り	5P
登録団体、相談室コーナー	
人権・男女共同参画課から	6P
ストーカーとは？ほか	

平成26年(2014年)3月発行

横須賀市 市民部 人権・男女共同参画課
〒238-8550 横須賀市小川町11番地
☎046-822-8228
E-mail: we-pc@city.yokosuka.kanagawa.jp
H P: http://www.city.yokosuka.kanagawa.jp/2420/gender/index.html

36号



男女共同参画社会に向けて 頼もしいパイオニアたち

横須賀市議会 女性議員さんに市民サポーターが聞きました

「男女共同参画」とは…

男女が性別にかかわらず個人として尊重され、家庭生活及び地域生活並びに職業生活において対等に参画し、並びに個性及び能力を発揮し、それらの利益を享受し、かつ、共に責任を負うこと。

（横須賀市男女共同参画推進条例 第2条第1号）

つまり、男性も女性も、家庭生活、社会生活において対等に参画し、共に責任を負う社会が「男女共同参画社会」となります。それは、男女ともに「仕事」と「家庭」を両立し、ワーク・ライフ・バランスの取れた生活を享受できる社会でもあります。

国は「2020年までに指導的地位に占める女性の割合を少なくとも30%に」という目標を掲げています。女性の活躍を積極的に推進していく方針です。

そんな中、100年以上の歴史を持つ横須賀市議会に初の「女性副議長」が昨年誕生!! 男女共同参画への扉が一つ開かれました。

矢島真知子副議長と5人の女性議員に男女共同参画社会についてお話を伺いました。詳しくは、2面～4面をごらんください。



横須賀市は、市役所を男女共同参画モデル事業所として、ワーク・ライフ・バランスの推進や女性の登用に積極的に取り組んできました。しかし、いまだ厳しい状況が続いています。

全職員 3,156人中、女性は842人（26.7%）
管理職（課長級以上）は 全171人中、女性は12人（7.0%）

横須賀市議会では 議員41人中 女性は6人（14.6%）

【平成25年4月1日現在】



写真右上、左下：インタビュー風景
写真右：初の女性副議長・矢島真知子さん

